

# 報告書

2023年

3月 26日

屋号	周布つむぎて地域食堂	氏名	矢倉真弓子
題名	子ども食堂		
期間	令和5年2月～令和6年2月		
概要			
子ども食堂(お弁当配布、フードパントリー)の実施			
内容			
子ども食堂開催			
令和5年2月4日 子ども28食 大人8食 予備10食 合計46食			
3月4日 子ども24食 大人8食 予備10食 合計42食			
4月1日 子ども22食 大人5食 予備10食 合計37			
6月3日 子ども18食 大人3食 予備10食 合計31食			
7月1日 子ども21食 大人12食 予備10食 合計43食			
8月9日 子ども20食 (ゴテンマエ食堂とコラボ) 予備10食 合計30食			
9月2日 子ども19食 大人6食 予備10食 合計35食			
12月2日 子ども34食 大人13食 予備10食 合計57食			
2月3日 子ども14食 大人3食(イトインで手巻き寿司)			
令和5年の2月から小学校と周布公民館にチラシを配布しお弁当の配布という形からスタートしました。			
お弁当の配布は、高校生や地域の方がボランティアにきてくださり、配布や写真撮影もスムーズに行えた。			
令和6年2月に、高校生ボランティアの協力があり、公民館でのイトイン開催ができた。			
職域の講話をはじめ、高校生のクイズなどで盛り上がり、参加者の方にも喜んでいただけてよかった。			
課題・問題点			
子ども食堂に関する認知、ボランティアスタッフの不足、地域の婦人会が解散しているため、地元の方の協力を得るための活動をどのようにしていくかという課題ができた。 公民館にチラシにチラシを置き高齢者の方も対象としているが、申し込みに繋がりにくかった。			
今後の活動・対策			
イトインを定期的(年4回)に実施できるようにするために、丹原高校にボランティアのお願いをしていく。地域の子育て世代にもボランティアを呼び寄せるためにSNS発信などをこまめに行う。また、イベントの企画も行い3世代交流を行い、ゆくゆくは防災にも繋がるよう活動を続けていく。			